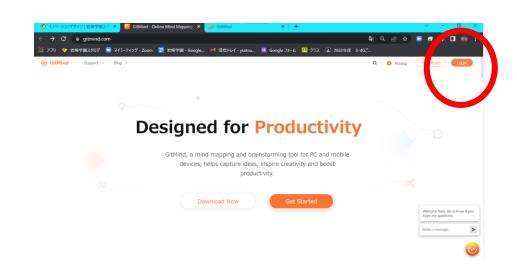
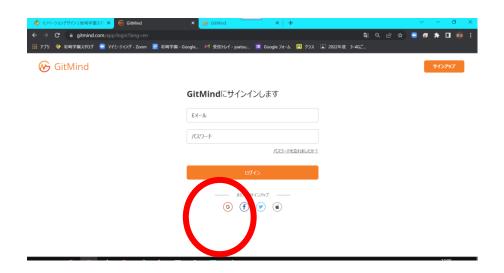
マインドマップのツール比較

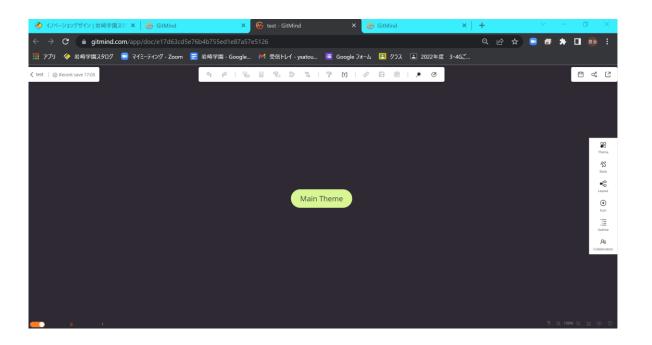
	利点	欠点
FreeMind	 オープンソフトの老舗・標準 全無料 多機能 表示がコンパクトなのでたくさんの情報を整理できる 	クライアントソフトで、クラウドで使 プレゼンの構成 とか、一人で じっくり検討した いときに便利
MindMup	クラウドWEBアプリレイアウト自動無料でExport/import使える	 英語UI テンプレートPoor Google Drive使うと共同編集できない
GitMind	 日本語UIは翻訳で きれいなデザインテンプレートがたくさん 無料でTextへExportできる 無料で共同編集でき、手順が明確でわかりやすい 	スマホクライアントでいじれないレイアウトは手動、すぐ汚くなる

- Chromeで、https://gitmind.comにアクセスします。日本語翻訳を選択。
- Login。
- GoogleアカウントでSign up。二段階認証が走る。





- New mapでMind Mapを作ります。
- 左上の「untitiled」を適当な名前に変更。



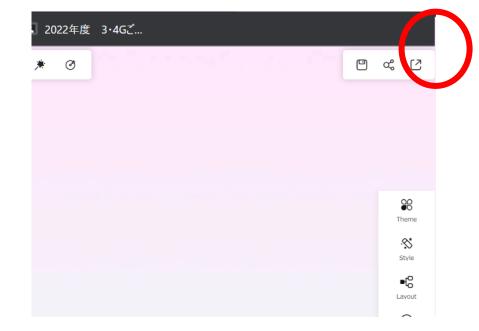
- ルートノードをクリックして、テキストを編集してみる。
- 子ノードをぶら下げてみる。
- 孫ノードを2つぶら下げてみる。
- 線の上にカーソルを持っていき、アイコンをクリックして畳み込みしてみる。子ノード数アイコンをクリックして、展開してみる。
- 右上のスタイルアイコンでThemeやLayoutを いじってみる



• Exportで、GitMindプロジェクトファイルでダウンロード。チームの成果提出時は、このファイルを提出してもらいます。

• このファイルをチームフォルダーに載せておきます。翌週、もしも別の人が作業をする際は、folder viewでimportして。チームの成果提出物も更新し

てください。



- 左上の"<"で、自分のfolder viewに戻れることを確認。
- 一度作成したら、クラウドのファイルがここにあるので、再編集するには、ログイン後、ここに戻ればよい。

